



研究部会報告

● OR/MS とシステム・マネジメント ●

・第5回

日時：11月22日(土) 15:00~17:00

場所：東京工業大学百年記念館2階第1会議室

出席者、テーマと講師：10名

「建設業におけるIT技術の活用—施設の情報化と建設業の情報化の2つの視点から—」

谷岡雄一(清水建設)

最近のインターネット環境、ブロードバンドの普及に伴い、国内外に多数のサイトを持つという生産形態の特異性が生じている。建設業界においても、建築生産の高度化、生産性の向上をめざした新たな情報技術の活用がなされている。例えば、エンジニアリングプロセスをシミュレーションで評価することなどである。また、建設投資に占める情報化投資比率が増大し、施設の情報化市場が拡大している。

・第6回

日時：12月20日(土) 15:00~17:00

場所：東京工業大学百年記念館2階第1会議室

出席者、テーマと講師：8名

「戦略遂行能力と組織知能」

時山 正(コンサルタンツ ノヴァーレ)

大企業から中小企業において観察される現象として、組織成員は与えられた日常業務に追われ、現場としての創造性に欠けているケースが多いように感じられない。組織成員の情報の共有はあるが、それはコンテンツの共有にすぎず、情報の意味づけをしたコンテキストの共有化が不足している。これらは、組織が効率性の追求をするのみで冗長性がないことなどが一因である。今後、コンテキスト伝達のメカニズムや冗長性管理の手法など、もう一度「組織知能」に係わる理論開発が必要であろう。

● 不確実環境下での意思決定法 ●

・第6回：千葉シンポジウム

日時：12月24日(水) 13:00~16:30

場所：千葉大学理学系総合研究所棟1階105室

出席者、テーマと講師：9名 *印は口頭発表者

(1)「時間の向きと強化学習」

*小田中敏男(都立科学技術大学名誉教授)

(2)「時不変不確定要素を持つシステムの安定化可能条件に関する考察」

*雨宮 孝(都立科学技術大学)

(3)「New Mosquito Reduction Algorithm by Using epsilon Filter for Decoded Image」

*正道時勉(日本工業大学)

(4)「Fuzzy Metric Clustering and Dynamic Programming」 岩村覚三(城西大学数学科)、堀口正之(東京電機大学情報環境学部)、*蔵野正実(千葉大学教育学部)

(5)「Computational Behavior of a Genetic Algorithm to Solve the Set Covering Problem」

*堀池真琴(帝京大学経済学部)、岩村覚三(城西大学数学科)

注) 発表の概要は春季研究発表会にて報告予定

● 意思決定と OR ●

・第5回

日時：1月24日(土) 14:30~17:00

場所：金沢大学サテライトプラザ講義室

出席者、テーマと講師：10名

(1)「フラクタル-非フラクタル構造と所得分布」

石川 温(金沢学院大学)、鈴木忠雄(七尾短期大学)

フラクタルとフラクタルが崩れている領域をあわせ持つ分布に共通した性質を理解するため、「スケール不変な理論+典型的スケール」という見方を提案する。我々は一例として R^2 項を持った2次元重力を取り上げ、モデルから導かれる理論曲線が、フラクタルが破れる例となっている「所得分布」を巧く説明できることを示した。

(2)「AHPによる介護保険制度の評価」

金子宏之(小松短期大学)、成瀬喜則(富山商船高等専門学校)、桑野裕昭(金沢学院大学)

日本では高齢化の進行に伴い、介護サービスを質・量ともに充実させることを目的として2000年度に介護保険制度が創設された。本研究では2005年度に予定される制度の抜本的見直しに寄与すべく石川県内で寄せられた苦情・相談件数のデータから問題点を明らかにし、改善点の優先順位をAHPにより導出するため階層構造図を考察した。